



## 令和8年度米海兵隊との実動訓練について

令和8年度米海兵隊との実動訓練、通称「レゾリュート・ドラゴン26」の実施については、令和8年5月21日（木）に沖縄防衛局より説明を受けました。

本市での訓練は、令和8年6月25日（木）から29日（月）までの期間で実施される予定です。

この訓練は、日米共同による災害対処訓練として、日米の共同調整所の運営訓練、共同衛生訓練、そして航空機による物資補給・輸送訓練が主な内容と伺っております。

共同衛生訓練においては、陸上自衛隊 V-22（オスプレイ）が宮古空港を使用するとの説明を受けております。

特にオスプレイの運用につきましては、市民の皆様が抱かれる安全性への懸念やご不安を、深く理解しております。防衛局から安全性についての説明は受けましたが、本市からも、安全管理の徹底、そして何よりも市街地上空の飛行自粛を強く求めました。

南西諸島を取り巻く安全保障環境は、現在、一層厳しさを増していると認識しております。中国公船による領海侵犯や接続水域への侵入が常態化している状況、そして本市の漁業者が操業できない現実もございます。中国による軍事動向の活発化、北朝鮮による弾道ミサイル発射、台湾周辺での緊張状態、ロシアの動きなど、複合的な脅威に対してより現実的な対応が必要であると認識しております。

このような状況下において、日米双方による訓練の実施については、自国防衛と大規模災害時の輸送・救助活動という観点から、必要最低限の範囲において、その必要性を理解しているところです。

一方、米軍単独による市内での訓練については、引き続き自粛を求めるという立場に変わりはありません。

立て続けに米軍との共同訓練が実施されることについて、市民の皆様にご不安の声があることも承知しております。

私としては、市民の皆様のご生命・財産、そして平穏な生活を守ることが最優先であると強く考えており、国に対しては、安全保障環境の変化について、直接市民に情報を提供する機会を設けるよう強く申し入れを行いました。

国からは、早い段階での開催を検討するとの回答をいただいております。

自衛隊の活動に関する説明責任は国にあります。私も市長として、市民の皆様のご声を受け止め、私の考えを説明する責任があるとの考えから、地域別意見交換会を5地域で開催する計画を立てております。特に駐屯地周辺など、影響を強く受ける地域から順次実施してまいります。

引き続き、国に対しては、丁寧な説明と必要な情報の発信を強く求めるとともに、市民の皆様のご意見をしっかりと汲み取り、国に伝えてまいります。

